

令和8年3月6日

保護者・地域の皆様

世田谷区立代田小学校

校長 鈴木 忍

## 令和7年度 学校関係者評価報告を受けて

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、学校関係者評価委員会委員長 黒田高史様より「令和7年度 学校関係者評価報告書」をいただきました。児童・保護者・地域の皆様からの貴重なご意見を真摯に受け止め、次のように本校の今後の取組についてご報告申し上げます。

### Ⅰ 本年度評価の概要について

本年度は、児童・保護者・地域から、学校運営に対して大変高い肯定的評価をいただきました。特に

**○学校行事の充実**      **○安心・安全な教育環境の整備**      **○地域との良好な連携**

については、高い支持をいただき、本校が地域に支えられ、安定した教育活動を行えていることを改めて実感いたしました。とりわけ、地域の皆様からは「できる範囲で協力したい」との回答を100%いただき、学校・家庭・地域の強固な信頼関係が本校の大きな財産であることを確認することができました。

### 重点目標と項目別改善計画

※(昨年度比 △上昇▼下降)

◎重点目標	(1) 重点目標	<b>互いのよさを認め合い、相手を尊重できる子どもの育成</b>
	(2) 数値による指標	・相手や場に応じた挨拶をしている 86.9% (△3.4%) ・相手や場に応じた言葉遣いをしている 79.8% (△0.4%) ・授業中友達と話し合ったり、協力しあったりしている 81.8% (▼1.7%)
	(3) 具現化のための方策 ◎背景 ・具体的な取り組み ◎評価・検証方法 等	○規範意識や通学ルール遵守は高く、落ち着いた環境が保たれている。一方で、あいさつの向上が課題である。友達関係は良好である。 ・代表委員会児童を主体とした挨拶運動の他、あいさつ週間を通して地域との協働を図り、挨拶運動の活性化を図る。 ・たてわり班活動の充実や学級会での「よいところ見つけ」などの日々の取組の他、行事後の相互承認の時間を設定する。 ・地域の方にも学校行事や学習支援への参加を促し、共同活動を通して交流の質的向上を図る。  ◎学校評価による検証を実施し、回答を「きまり」85%、「通学マナー」90%、「あいさつ」80%、「友達と学校生活を楽しんでいる」90%以上を目指して指導する。

◎重点目標2	(1) 重点目標	<b>自らの課題に意欲をもって取り組み、自分の力を高めることができる子どもの育成</b>
	(2) 数値による指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある 88.8%(▼7.1%)</li> <li>・将来のことについて授業で考える 74.8%(△2.6%)</li> <li>・目標をもち、その実現に向けて努力している 67.7%(▼6.5%)</li> <li>・以前より自分で課題をもって学習し、できたことやできないことを振り返っている 64.7%(△1.8%)</li> </ul>
	(3) 具現化のための方策 ○背景 ・具体的な取り組み ◎評価・検証方法 等	<p>○話し合い活動は高評価で一方、苦手な事への挑戦は低く、特に6年生で意欲低下が見られる。課題解決力は一定の評価を得ているが、主体的な学びへの転換が課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AAR サイクルによる振り返りを一層充実させ、自らの成長を実感できる学習過程を構築する。また、「できた」「伸びた」の見える化を通して、自身の成長を自覚させる。</li> <li>・6年生を中心に、卒業に向けたプロジェクト型学習やキャリア教育を充実させ、自己有用感を高める。</li> <li>・委員会活動や学校行事において高学年が主体となる場面を増やし、挑戦する経験を保障する。</li> <li>・ICT 機器を活用し、個別最適な学びと選択のある学習場面を設定することで、「自分で選ぶ学び」を推進する。</li> </ul> <p>◎学校評価による検証を実施し、「苦手なことへの挑戦」70%、「学ぶことが楽しい」前年度以上、保護者回答「課題解決力育成」80%以上を目指して指導する。</p>
◎重点目標3	(1) 重点目標	<b>自分の健康や体力に関心をもち、すすんで運動に取り組む子どもの育成</b>
	(2) 数値による指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(児童) 体育の授業や休み時間によく体を動かしている 74.8%(△0.6%)</li> <li>・(保護者) 子どもたちは体力向上や健康的な生活に取り組んでいる 76.7%(▼7.5%)</li> <li>・友達と一緒に学校生活を楽しんでいる 86.9%</li> </ul>
	(3) 具現化のための方策 ○背景 ・具体的な取り組み ◎評価・検証方法 等	<p>○概ね、体力向上に対する活動には、一定の評価が得られている。友達と楽しく活動できている良好な友人関係が、すすんで取り組む姿勢にもつながっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイチャレンジタイム(縄跳び、持久走)の取組を継続し、楽しみながら体力向上を図る。</li> <li>・体力テストの結果を活用し、自身の成長や課題を可視化することで主体的な取組につなげる。</li> <li>・行事や体育的活動において達成感が味わえる機会を設定し、自己肯定感の向上を図る。</li> </ul> <p>◎学校評価による検証を実施し、「(児童)よく体を動かしている」80%、「(保護者)体力向上を目指して取り組んでいる」80%以上を目指して指導し、健康教育の充実により生涯にわたり心身の健康を大切にする意識を高める。</p>

学校への提言項目に対する改善計画	(1) 提言項目	<b>小中連携(学び舎)の深化と発信の強化</b>
	(2) 具現化のための方策 ○背景 ・具体的な取り組み ◎評価・検証方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との交流活動の様子を、学校だより・HP・動画等で積極的に発信する。</li> <li>・中学校授業体験・部活動体験への継続参加を図り、進学への不安軽減に努める。</li> <li>・キャリアパスポートの活用を通して、小学校から中学校への学びの連続性を明確にする。</li> <li>・地域への情報配信チャンネルを作成し、定期的な情報発信を通して、本校の取組についての理解を図る。</li> </ul> <p>◎保護者向け説明資料の充実により、学び舎認知度70%以上、「わからない」回答を15%以下へ減らす情報提供を行う。</p>
	(1) 提言項目	<b>高学年のメンタルケアと動機付け</b>
	(2) 具現化のための方策 ○背景 ・具体的な取り組み ◎評価・検証方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や見通しを明確に示し、挑戦の過程を認める評価を大切に、安心して挑戦できる学習環境の充実を図る。</li> <li>・卒業プロジェクトの充実を図り、達成感や自己有用感を高める。</li> <li>・キャリアパスポートを効果的に活用し、自己の成長を実感できる機会を設ける。</li> <li>・学校行事への主体的な取組を推進し、最高学年としての役割意識を育成する。</li> <li>・委員長・クラブ長ミーティングを定例化し、悩みや課題を共有する場を設定する。</li> </ul> <p>◎学校評価による検証を実施し、「(児童)学校生活は楽しい」の項目を85%以上となるよう、安心して挑戦し続けられる教育活動を推進する。</p>
	(1) 提言項目	<b>地域交流による社会性の育成</b>
	(2) 具現化のための方策 ・背景 ・具体的な取り組み ・評価・検証方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動を再構築し、児童会と地域が連携した取組を推進する。</li> <li>・登下校時の見守り活動を充実させ、安全・安心な環境づくりを強化する。</li> <li>・地域への重点依頼事項を明確にし、学校と地域の協働体制を強化する。</li> <li>・学校運営協議会の実行チームを活用し、地域ボランティアの参画機会を拡充する。</li> </ul> <p>◎学校評価による検証を実施し、「(地域)あいさつ」80%以上、地域アンケートの回収率60%以上を目指す。</p>